



板橋稲門会

板橋稲門会会報 第16号
 平成26年4月15日
 発行 板橋稲門会事務局
 〒173-0036
 板橋区向原1-22-11 鷹鷲方
 TEL & FAX 6789-3343
<http://www.i-toumonkai.jp/>
<http://www.facebook.com/ita.toumon>



下村博文氏

今回は、会員増強を念頭に多くの皆様に参加していただけるよう、気軽に参加できる総会を



根本進氏

上がり、参加者全員が熱く盛り上がり、笑顔で交わしつづつ、菅原副幹事長の閉会の辞で9時に終了しました。

「板橋稲門の集い」とソフトなタイトルを掲げ、平成25年5月18日(土)午後6時30分より、板橋区立成増アクトホール・多目的ホールにて開催しました。

第一部・総会の司会は北島副会長。渡邊会長の挨拶に続いて議事に入り、総ての議題は原案通り満場一致で承認可決されました。

第二部・懇親会の司会は田中副会長。会長挨拶の後、ご来賓を代表して早稲田大学 根本進地域担当部長から世界に羽ばたける人材育成を目指した「グローバル150」を柱にしようという祝辞をいただき、ご来賓の紹介の後、当会顧問の下村博文文部科学大臣から教育再生にとり組む熱い思いの挨拶をいただきました。

大鹿副会長の音頭による乾杯の後は、ご来賓・現役学生と共に賑やかに懇親し、交流の輪を広げました。また、アトラクションは2つあり、早大マンドリン楽部の演奏による懐かしいメロディー、早大ハワイ民族舞踊研究会の若々しい華やかなフラダンスで快い時間を共有しました。

「板橋稲門の集い」とソフトなタイトルを掲げ、平成25年5月18日(土)午後6時30分より、板橋区立成増アクトホール・多目的ホールにて開催しました。



渡邊直幸 会長

気軽に楽しく、現役女子のフラダンスも登場。

板橋稲門の集い(平成25年総会&懇親会)レポート



目指して、板橋在住の現役学生にも声を掛けるなど幾つかの試みにもチャレンジ。また駅から近くかつ舞台付き会場での開催となりました。



- 〔ご来賓〕
- 根本進 早大・地域担当部長
 - 青柳乾太郎 千代田稲門会会長
 - 石川宣司 豊島稲門会会長
 - 横沢国夫 中野稲門会会長
 - 内田佑司 文京稲門会会長
 - 北雷次 北稲門会副会長

東京都23区支部大会ご報告

お陰さまで300名が参加、大盛況でした。

3月9日(日)に開催した23区支部大会には、300名の参加者がありました。支部長区として企画を担当したこともあり、当会から34名と大勢が参加。また16名に運営スタッフとしてサポートして頂きました。

第一部の講演会は大隈小講堂にて開催。司会は大鹿副会長。講師として当会顧問の下村文部科学大臣に「日本の教育再生」の演題で1時間ご講演いただき大好評でした。取り組まれている教育改革の一端を説明。また教育再生実行会議の座長



生実行会議の座長に鎌田総長をお願いした経緯などを披露いただきたくなど、内容盛り沢山の有意義な講演でした。

第二部の「懇親会」は、リーガロイヤルホテルに会場を移し、司会進行は鷹鷲副会長兼幹事長。渡邊支部長(当会会長)の開会挨拶に続き、鎌田総長以下9名の来賓紹介、そして鎌田総長の挨拶では、ソチオリンピックの男子フィギュアスケートで金メダルを取った羽生結弦選手が早稲田大学で人間学部Eスクール授業を受けている学生であることも披露いただきました。



続いて、東日本大震災で被害に遭われた気仙沼の(株)男山本店・菅原会長から、現地震災復興状況の様子や復興酒購入で支援した23区支部参加者へのお礼のご挨拶もいただきました。

野崎校友会常任幹事のご発声で乾杯。早稲田友誼会女性スタッフ2名からの早稲田祭PRと今年も10月19日開催の稲門祭運営を支援するという挨拶の後、懇親会に入り、親しく懇談しました。

アトラクションは、当会会員の山田壮晃さんが主宰するビッグバンオーケストラの選抜メンバーで構成された山田壮晃&メロトーンが出演、昔懐かしいスタンダード曲を熱演しました。

校歌斉唱とエールは例年通り元応援団の石川範行23区支部幹事(豊島稲門会副幹事長)、中締めは次期支部長区の台東稲門会の岩崎相談役にお願ひし、18時10分お開きとなりました。

お陰様で、参加した方からは総じて好評であり、数多くのお褒めの言葉をいただき、ほっとしている次第です。応援くださった皆様へ感謝申し上げます。

記・藤田 治(44年理)



記・鷹鷲 慎吾(37年商)

▼板橋稲門会ゴルフ

★第28回ゴルフコンペ

平成25年4月4日(木)

埼玉ロイヤルゴルフ倶楽部おこせ

優勝・田嶋敏彦氏

(56年社歴)

当日は晴天のゴルフ日和14人の凄腕ゴルファーが集結しました。この倶楽部は、日本語が上手な南米出身キャディーが多くて有名なコース。この日ついた方もアルゼンチン出身のとってもきれいなキャディーさん。私のボルテージもいつの間にか最高潮。

しばらくゴルフ不調が続いていましたが、この日ばかりは終わってみれば88と上出来すぎるスコア。これも、あれもきれいで若いキャディーさんのお蔭と感謝です。(すみません。もちろん同組の田中厳さんと鷹筈幹事長の影響はそれ以上です、本当です。)という訳で、ゴルフ幹事という大役を忘れて優勝してしまいましたこと、本当に恐縮しております。申し訳ありません。

5アンダーでの優勝ということで、皆さまからのパッシングもかなりのもので、ハンデもしっかりマイナスして頂きました。次回からも、重く(軽く?)なりすぎたハンデにくじけることなく日頃の精進を続け、頑張りたいと考えている今日この頃であります。

★第29回ゴルフコンペ

平成25年9月19日(木)

おおむらさきゴルフ倶楽部

優勝・乗光弘二氏(40年社歴)

明日へさらに明日へと激しく生きていくうちにほどほどの年を迎え、放物線の頂点を登りつめたように視界がまるで違ってくるようです。今まで拘わってきたものが何となくなくなり新しい大切な事が見えてきたりします。

しかしフェアウェイに挑むときの胸の内は今でも尚爽やかにときめくものです。コンペに参加の諸兄の心もちは同じではないでしょうか。無邪気にスコアを競いながら十八ホールを回る間のメンバーの語り合いにそれぞれの人生

第28回ゴルフコンペ成績

優準位	優勝位	田嶋敏彦	敏彦	友一	クロス	ハンデ	ネット
3	3	88	92	84	21	24	67 68 69



の一面をふり振り返りながら、又新しい明日への糧となるものです。ましてやなにかの弾みで優勝なんていう事にでもなれば、それはこの上なく愉快な事ですが、しかしそれよりもさらに、汗した額に緑いつぱいの風を受けながらフェアウェイを歩くときの快感は山あり谷ありのゴルフの出来具合いをとびこえてそれはそれはこの上なくけつこうなものです。今日のゴルフに乾杯、今日の仲間乾杯。

★第30回ゴルフコンペ

平成25年11月14日(木) 清澄ゴルフ倶楽部

優勝・山田壮晃氏(58年社歴)

日頃の行いのせいか快晴のもと、清澄ゴルフ倶楽部に13人が集まり、節目の30回大会です。

フェアウェイも広く、飛ばし屋の私としてはやりやすいコースでした。とは言うものの、右や左の旦那様。インスタートの前半は55!ニアピンもドラコンも良いとこなし。同伴競技者の中村先輩、田嶋先輩も何故かお付き合いました。

昼食を挟み、ガソリンも補充して後半戦。体もよく動くようになり、スコアもまとまってきました。3番のショートは田嶋さんがニアピン。6番のドラコンは会心の当たりで、280ヤード?行ってみたら、潮先輩の3センチ手前でした。残念。後半は45でトータル100。ハンデのおかげで優勝させていただきました。しばらくはハンデが減り優勝できないと思います。が、参加することに意義がありますね。いつもとても楽しい会です。優勝カップも今回は取り切り制とのこと、家の居間に飾ってあります。

第29回ゴルフコンペ成績

優準位	優勝位	乗光弘二	弘二	敏彦	クロス	ハンデ	ネット
3	3	87	102	87	20	29	67 73 74



第30回ゴルフコンペ成績

優準位	優勝位	山田壮晃	壮晃	豊	クロス	ハンデ	ネット
3	3	100	97	96	26	21	74 76 81



▼いたばし花火大会観賞会 ▲平成25年8月3日(土)

光と花の洪水に酔いしれた



北島 寿一 (40年社歴)

前の週の隅田川の花火大会が雨で中止になりましたが、第54回目的いたばし花火大会当日は好天に恵まれ、開始時は荒川の夜風が心地よく最高の花火見物となりました。オーブニングでは都内の花火大会では一番大きい尺5寸玉が打ち上がり400mの高さに咲いた直径360mの大輪に感動し、続いて毎年恒例の日本最高峰花火師10人による芸術球の競演を楽しみました。

後半の始めには、女子レスリングの吉田沙保里選手を迎え、2020年の東京オリンピック招致活動の報告、来場者15万人(主催者発表)による三本締めと続き、光と花の洪水に酔いしれ、フィナーレは恒例の「ナイアガラの滝」の火柱と大スターマインの花の舞による締めと、約2時間歓声と拍手につつまれました。花火好きとして数々の花火大会に足を運んできましたが、センスの良さではかなり上位の部に入るのでないでしょうか。来年また会いましょう!

▼第2回納涼会 ▲平成25年8月31日(土)

屋上でのビールは格別の味

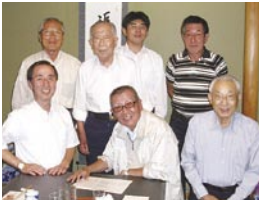


田中 康智 (H10年商)

2年目のジंकクスということをよく耳にします。プロ野球などで1年目に大活躍をした新人選手が2年目には大した成績を残せないことを言います。第1回目の納涼会は私の単なる思い付きで西武百貨店ピアガーデンでの親睦会を実施させて頂いたが、30人もの多くの方の参加で大盛況でした。そして今年も2年目の納涼会が開催された。2年目のジंकクスを意識して。



さて第2回目の結果は・・・参加者は26人。今年も多くの先輩にお集まり頂きました。本当にありがとうございました。場所を東武百貨店のピアガーデンに移して開催でしたが、やはり屋上でのビールは格別。そして参加したみなさんが和気藹々と歓談する光景には幹事としては堪らない感動があります。途中には料理自体は美味しいけれども、ちよつと量が少なめではないのかなとヤキモキする場面もありましたが、顧問からのご配慮も



秋晴れの中、新企画「地元工場見学会」が三芳合金工業株式会社にて行われました。見学先は、会員の萩野茂雄氏が経営されている会社です。昭和16年、先代が板橋にて富士特殊金属研究所を設立したのが始まりで、製造している物は銅合金です。特殊銅合金供給のデパートと呼ばれるほど製品の種類は豊富、且つ短納期という、技術力が高いメーカーです。有害とされるベリリウムを含まないNC合金を世界に先駆け開発するなど、大手も一目置く存在であり、海外の展示会へも積極的に出品しているとのこと。

驚いたのは、工場なので、黙々と(効率的に)作業をこな

とにしました。板橋といえば工場がある地域というイメージですが、見学する機会は少ないと思います。板橋稲門会からのメールを開いてみました。訪問先は偶然ですが、知り合いが勤めている会社だったので、工場が稼働している平日の実施という事で、日程の調整を要しました。が、これも何かの縁と思い参加することにしました。

会社の目的は何か！



小澤 彰 (H12年 法)

第1回地元工場見学会 ▲平成25年10月9日(水)

第4回音楽の集いは、スタイインウエイのフルコンサートピアノというコンサートホールで演奏される大型ピアノで、ショパンの名曲の数々を間近かで聴かせていただき、その迫力と音色の素晴らしさに感激と幸せで一杯でした。



記 藤田 治

第4回音楽の集い ▲平成25年9月29日(日)

フルコンサートピアノの響き、感激と幸せ。

あり、本当に満足のいく納涼会となりました。重ねて御礼申し上げます！
 どうにか2年目のジンクスは乗り越えた。さて来年はどうしたらもっと良い納涼会になるか？そんなことを思っていると既に季節は納涼の夏から秋を感じるようになっていきます。来年も3年目のジンクスが来ないことを祈って。

第18回ウオーキング会 ▲平成25年11月9日(土)



村上 奉文 (41年 文)

等々力溪谷の秋を満喫

副都心線—東横線直通運輸を利用し、池袋から自由が丘まで特急にて直行。大井町線に乗り換え「上野毛」下車、10名の参加者は異口同音に「便利になったね」。
 まずは五島美術館で国宝級の光悦や取藏品、庭園を觀賞し、多摩川畔まで歩き、大きな石像が並ぶ善養寺を経て、等々力溪谷下流部の矢川橋より等々力溪谷を上流に、休憩を挟みおしゃべりをしながら進みました。



色づき始めた木々と静寂の中、等々力不動尊、日本庭園、不動の滝などの見どころを経由してゴルフ橋より地上へ戻り、懇親会場「木曾路等々力店」へと向かい、美味しい食事と歓談を味わい帰路につきましました。
 都内で深山幽谷の趣を残す等々力溪谷の秋、楽しい一日を満喫しました。

早慶戦観戦 ▲平成25年11月3日(日)

最前列で大声援！



林田 重剛 (40年 商)

秋のリーグ戦の最後を飾る伝統の早慶戦は11月3日(日)、さわやかな天気にも恵まれ第二回戦が行われた。我々



飾り、ようやく鬱憤が晴れた。
 早稲田は有力選手が多数来季に残る。この伝統の一戦を勝利のはずみとして来季の大躍進を期待したい。

ラグビー早明戦観戦 ▲平成25年12月1日(日)

国立競技場、最後の早明戦に勝利！



山上 郁雄 (59年 理)

昨年、初めて板橋稲門会で早明戦観戦を行い、今年は二度目の開催である。会場となる国立競技場は2020年の東京五輪に向けて改修工事が行われるため、現国立競技場では最後の早明戦である。記念すべき試合に板橋稲門会として参加することができ、とても感激している。今年の入場者は4万6961人、満席だった。入場者は4万6961人、満席だった。入場者は4万6961人、満席だった。



出だしは劣勢で、前半に明治がドロップゴールで先制、だが前半終了間際にペナルティーゴールで同点に追い付き前半終了。後半は、開始直後に明治のペナルティーから積極的にボールを回し、最初のトライを決めた。その後はほとんど早稲田陣内に釘付けとなつてしまつたが早稲田のディフェンスは固く、明治のトライを許さない。ヒヤヒヤしつつ放しであつた後半のロスタイムにスクラムから抜け出し、2本目のトライを決め、15-3で勝利を取めた。最後の早明戦、満員の観衆の中、両校とも気合の入った戦いぶりであり、「最後の国立」にふさわしい試合であつた。(次ページへつづく)



平均年齢は少し高いけれど、熱心に活動！

平成25年度の第1回は7月6日と少し出遅れましたが、以後、第7回の2月1日までほぼ毎月開催しました。参加者年齢はS25年卒で87歳の山内さんから37歳の若手まで、腕前も4段から初心者まで幅広く、今年度は昨年度比大幅に増えていつも6〜9名が参加、和気藹々とそして真剣に対局してきました。

会場は、当初担当幹事の齋藤友一郎の和室を借りていましたが、1月から大谷口地域交流センター分室(和室)での開催となりました。また6月と12月には、お隣の北稲門会「囲碁部会」にお邪魔して交流を深めるとともに、9段の高段者から教えていただくという出稽古も実施しました。

転居や高齢による退会がありまし

▼**囲碁の会 第1回〜第7回**▲

平成25年7月6日〜平成26年2月1日



藤田 治 (44年 理)



暖かく穏やかな日和の中、12名が新高島平の剣閣(四川料理)に集いました。二階の広々とした落ち着いた会場で、12時に清水先輩の乾杯の挨拶で開始し、冷菜盛り合わせ、牛肉と舞茸炒め、点心、海老チリと進み炒飯、杏仁豆腐で締めと全9品を完食しました。

歓談も盛り上がり、大変楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

▼**第10回食べ歩きの日**▲

平成25年12月7日(日)・新高島平「剣閣」



菅原 光明 (45年 学学)

いつもならここで終了だが、本日は「最後の国立イベント」が実施された。両校の校歌斉唱、エール交換の後、松任谷由実が登場した。名曲「ノースサイド」を生歌で聞くことができた。感動もひとしおである。来年はどこで開催されるか分からないが、来年もぜひ観戦したいと思い、最後の国立競技場を後にした。



板橋稲門会

26年度 イベント ご案内

一緒に楽しむイベントが好評のため、よりいっそう充実した企画内容で開催していきます。

板橋稲門の集い (平成26年総会・懇親会) 5月14日(水)

ゴルフコンペ

4月10日(木)、11月6日(木)

ウォーキングの会

6月1日(日)、9月27日(土)、2015年3月28日(土)

会員懇親会

納涼会: 8月23日(土)、新年会: 2015年1月10日(土)

音楽の集い 9月28日(日)、2015年3月15日(日)

稲門祭・ホームカミングデー 10月19日(日)

板橋区民祭り(出店予定) 10月18日(土)・19日(日)

スポーツ観戦 野球・早慶戦: 11月1日(土)

ラグビー・早明戦: 12月7日(日)

食べ歩きの会 7月19日(土)、11月15日(土)

囲碁の会 原則毎月開催(適時、北稲門会の囲碁部会に参加)

地元工場見学会 10月開催予定

*** いたばし花火大会観賞会**

8月2日(土)は、自主参加とします。

*** 板橋稲門の集い(平成27年総会・懇親会)**

2015年5月23日(土)予定

予備日5月16日(土)、5月20日(水)

※上記日程は変更になる場合もあります。

★「稲門の集い」返信ハガキの希望イベントに○を付けていただくと、事前にご案内を差し上げます。ホームページ、フェイスブックにも掲載しますので、折にふれてチェックしてください。

ホームページ <http://www.i-toumonkai.jp/>

フェイスブック <http://www.facebook.com/ita.toumon>

ホームカミングデー&稲門祭で、模擬店「全国銘酒試飲会」を担当

10月20日(日)、午前のホームカミングデーに引き続き12時から2013稲門祭が大勢の校友を集めて開催されました。板橋稲門会では、23区支部長区が担当する大隈庭園での模擬店「全国銘酒試飲会」を運営し、全国の酒造稲門会18歳元から寄贈された30本の銘酒を校友の皆様に振る舞いました。



だが、11月には他県から転入された高段者の山本康夫さんに参加していただき、今後のご指導に期待するところ大です。平成26年度は4月から心機一転更に活発に活動する予定です。

囲碁に興味のある方は、初心者も歓迎ですので、是非、ご参加ください。

記・藤田 治

編集後記

25年度も活動はさらに活発に行われ、寄せられたご報告文を切り詰めさせていただきました。筆者の方にお詫びいたします。今年も楽しい行事を予定していますので、ぜひご参加ください。

まずは返信ハガキでのお返事と、ご参加の方は集いの参加費・年会費、ご欠席の方は年会費の納入を、是非ともお願い申し上げます。

板橋稲門会役員・事務局一同

あいにくの雨天、雨脚の強い時間も長く、運営に当たってくださった6名の皆様にはご苦労を掛けましたが、試飲した方からいただいた1杯百円は合計4万円となり、大学の寄付金とすることが出来ました。

早稲田大学の校友会には、全国の蔵元約50社が加入する酒造稲門会という組織まであることは驚きでした。また、このような企画を13年間続けている23区支部の伝統と歴史の重みも感じることができました。

2014年の稲門祭は10月19日(日)に開催されます。今年の支部長区は台東稲門会で、同様な企画で出店しますので、興味のある方は是非お立ち寄りください。記・藤田 治